

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第2区分
 【発行日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【公開番号】特開2005-150691(P2005-150691A)
 【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)
 【年通号数】公開・登録公報2005-022
 【出願番号】特願2004-248471(P2004-248471)
 【国際特許分類】

H 0 1 S 5/323 (2006.01)
C 0 9 K 11/77 (2006.01)
C 0 9 K 11/80 (2006.01)
H 0 1 L 33/00 (2006.01)
H 0 1 S 5/18 (2006.01)

【F I】

H 0 1 S 5/323 6 1 0
 C 0 9 K 11/77 C P H
 C 0 9 K 11/80 C P M
 C 0 9 K 11/80 C P N
 H 0 1 L 33/00 C
 H 0 1 S 5/18

【手続補正書】
 【提出日】平成19年8月22日(2007.8.22)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0043
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0043】

L n 源化合物として Y_2O_3 ; 1.44モル、M 源化合物として $-Al_2O_3$; 2.5モル、Ce 源化合物として CeO_2 ; 0.09モル、T b 源化合物として Tb_4O_7 : 0.0075モル、並びに融剤として BaF_2 ; 0.25モルを用い、1400 で焼成したこと以外は実施例1と同様の方法にて、黄色発光蛍光体 ($Y_{0.96}Ce_{0.03}Tb_{0.01}$)₃ Al_5O_{12} を作製した。得られた蛍光体につき、実施例1と同様に物体色と全光束を測定したところ、物体色は $L^* = 102.7$ 、 $a^* = -14.9$ 、 $b^* = 58.8$ 、全光束は116%であった。結果を表-1に示す。

(実施例6)

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0044
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0044】

L n 源化合物として Y_2O_3 ; 1.44モル、M 源化合物として $-Al_2O_3$; 2.5モル、Ce 源化合物として CeO_2 ; 0.12モル、並びに融剤として BaF_2 ; 0.25モルを用い、1400 で焼成したこと以外は実施例1と同様の方法にて、黄色発光蛍光体 ($Y_{0.96}Ce_{0.04}$)₃ Al_5O_{12} を作製した。実施例1と同様の評価を行ったところ、物体色は $L^* = 101.2$ 、 $a^* = -14.7$ 、 $b^* = 57.8$ 、全光束は110%、温度特性は98%であった。また、 t_1 は151ns、 t_2 / t_1 は2.03であった。結果を

表 - 1 に示す。
(実施例 7)